ノウフク・アワード２０２０応募用紙

**１　応募者の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 運営主体（企業・団体・法人名等） | （ふりがな）　しゃかいふくしほうじん　〇〇かい |
| 社会福祉法人〇〇会　 |
| 事業所名 | （ふりがな）　しゅうろうしえんBがたじぎょうしょ　のうふくかい |
| 就労継続支援B型事業所　ノウフク会 |
| 代表者名 | （ふりがな）　のうふく　たろう |
| 氏　名　　　　農福　太郎　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（役職：施設長　　　　） |
| 所在地・連絡先・担当者名等 | 住所　〒〇〇〇-△△△△〇〇県△△市□□町××-×× |
| 電話番号：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　FAX番号： |
| メールアドレス： |
| ホームページ（URL） |
| 担当者名：　農林　福太郎　　　　　　　　　　　　　　　　　　（役職：係長　　　　　　） |
| 法人等の種類 | □農業法人　☑社会福祉法人　□NPO法人　□株式会社　□有限会社□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 障害者等の就労等の形態 | ☑障害福祉サービスを行う事業所□障害者等を雇用している企業、法人等□障害者に農作業等を委託している事業所□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 設立年月日 | 2014年4月 |
| 組織の変遷 | 2011年4月　就労継続支援B型事業所ノウフク会開設2012年5月　農地を取得し、農業を開始2018年7月　レストラン及び直売所を開設 |
| 福祉サービス | □A型事業所　☑B型事業所　□生活介護　□その他（　　　　　　　　　　　）　□該当なし |
| 連携企業、事業所名等（福祉サービス） | 特になし※グループ内連携の場合は連携企業名等を記載 |
| □A型事業所　□B型事業所　□生活介護　□その他（　　　　　　　　　　　）　□該当なし |
| 農福連携の体系図 | 社会福祉法人〇〇会　　　　　多機能事業所〇〇会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　グループホーム　　　　　　　　　　　　　　　　　　　就労継続支援B型事業所ノウフク会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　レストラン〇〇　ノウフク直売所 |
| 障害者数等 | 雇用者数又は利用者数：２０人　うち農業等に関わっている人数：　　１５人 |
| 取得済みの資格等 | ☑認定農業者　　□６次産業化認定事業者　　□GGAP　　□JGAP　　□その他のGAP☑有機JAS　☑ノウフクJAS　☑エコファーマー　□その他 |

|  |
| --- |
| **２．取組の背景（きっかけ）・目的（必須）**※４００文字以内で箇条書きにて記入してください。 |
| 🔹当事業所では、〇年〇月に社会福祉法人〇〇を設立し、就労継続支援B型事業所を開所したが、障害者の工賃向上や自立支援などを目的に新たな働き場所として農業を検討🔹JAや町役場に農地の取得等について相談したところ、農業法人になれば農地を紹介するとのことで、△年△月農業法人を設立し、近隣の農家から耕作放棄地を３０a借り受ける。販路拡大による障害者の工賃向上や生きがいややりがいをもたせるためにノウフクJASを取得 |

|  |
| --- |
| **３．取組の体制と具体的内容（必須）**　※７００文字以内で箇条書きにて記入してください。 |
| 🔹知的障害者、精神障害者に加え、引きこもりの方、２０名で農作業などに取り組んでおり、障害者への農業指導は地域の高齢農業者にお願いしている。🔹当事業所では、３名の職員が農業関係の業務を行っており、障害者と共に農作業を行っている。🔹指導をお願いしている高齢農業者の農作業の手伝いに出向くことで、Win-Winの関係を構築🔹生産している農産物は、だいこん、にんじん、ピーマン、なす、トマト、ブルーベリーで、これらを使った加工食品も製造している。🔹工賃向上と周年作業を目指して、〇〇年、農林水産省の農福連携対策費を活用して農業ハウスを建て、トマトの栽培を行っている。🔹地域の高齢農家などから農地を借りてほしいとの要望があり、農地面積は５０aまで拡大。🔹JAから廃園となった茶畑を使わないかとの打診があり、今後はお茶栽培もおこなう予定。🔹地域内外との交流を深めるため直売所とレストランを開設し、直売所やレストランの従業員も障害者が一部業務を担っている。 |

|  |
| --- |
| **４．取組実績（必須）**　※農地面積、売上高、障害者等の工賃（賃金）、農作業に関わる障害者数、参加経営体等、取組実績がわかるものについて、項目ごとに取組当初時と直近５年間の推移を表形式で記入してください。 |
| 項　　目 | 単位 | 取組当初 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
| 農地面積 | ㎡ | ５００ | １０００ | ３０００ | ３０００ | ５０００ | ５０００ |
| ビニールハウス | 棟 | ０ | １ | １ | １ | ２ | ２ |
| 農産物売上高 | 万円 | ５０ | ９０ | １５０ | １８０ | ２５０ | ３８０ |
| レストラン売上高 | 万円 | - | - | - | - | １００ | １５０ |
| 工賃 | 円 | 13,500 | 22,000 | 25,000 | 28,000 | 32,000 | 40,000 |
| 障害者数 | 人 | １０ | １５ | １５ | １５ | ２０ | ２０ |

|  |
| --- |
| **５．取組の工夫（必須）**　※取組に当たって工夫されている点を４００字以内で箇条書きにて記入してください |
| 障害者の安全確保と農作業を増やすため農薬等は極力使用せずに、除草や虫害対策も手作業で実施〇作業所内の各所に農作業の手順等をわかりやすく記載した掲示板を設置〇農作業はグループ制で行い、それぞれが役割分担しながら農作業を実施 |

|  |
| --- |
| **６．取組の効果（必須）**　※取り組んだことにより、①農林水産業、②障害者等、③地域に対してどのような効果を生み出しているかをそれぞれ３００字以内で箇条書きにて記入してください。 |
| ①農林水産業🔹多品目栽培と農業ハウス栽培により、年間250日の農作業と出荷を実現。🔹手作業を多くすることで、多数の障害者を受け入れるとともに、機械の固定費を安くして、利益幅を確保。また、環境に配慮し、〇年〇月にエコファーマー認定取得するとともに、〇年〇月に認定農業者を取得🔹高齢農家からの作業依頼が増え、地域農家との信頼ができたことから、農地を借りてほしいといった依頼が多く寄せられている。🔹有機農業にも着手し、〇年に有機JASを取得②障害者等🔹県平均を大きく上回る平均工賃を実現。障害者の中には月５万円の工賃を実現した者もいる。🔹地域の農業法人から働きぶりが認められ、農業法人に一般就労した者が２名いる。🔹障害者の保護者からは毎日生き生きしており、事業所に行くのが楽しいといった声が聞かれる。③地域🔹直売所とレストランを開設したことにより、地域との交流が盛んとなるだけでなく、地域外からも訪れる人が増加した。🔹地域の祭りやイベントにも事業所として積極的に参加すること地域に貢献🔹地元の小学生が事業所に訪れ、障害者ととともに農作業を行うことで、交流が深まった🔹地域で信頼を得ることで、この地域で障害者が暮らしていける自信が芽生えた。 |

|  |
| --- |
| **７．取組内容がわかる写真等**　※写真、図表等を貼付し、20文字以内で説明を記入してください。取組内容を代表するよ写真を必ず3枚以上貼付してください。※第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害することのないように十分注意してください。 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

|  |
| --- |
| **８．表彰等の受賞歴（該当があれば記入）** |
| 表彰名等（受賞年度） | 主催者 |
| 〇年　ディスカバー農山漁村の宝〇年　県知事賞 | 農林水産省〇〇県 |

|  |
| --- |
| **９．取組に関するPR・エピソード（自由記入、写真貼付可）** |
|  |

①　記入欄には指定された文字数の範囲内で記入してください（文字の大きさも、当初の設定から変更しないでください）。

②　ノウフクアワードは、農福連携の普及啓発を目的に、表彰された取組内容はもちろんのこと、優良な取り組み事例を全国へ発信することとしており、応募用紙に記載・掲載いただいた内容及び写真については、農林水産省が行う広報活動及びノウフクポータルサイトへの掲載並びに地方公共団体への情報提供等（農林水産省ホームページへの掲載、選定事例集への掲載、政府施策紹介資料への掲載など）に使用することがございますので、あらかじめ御了承ください。（個人名については公表、使用はいたしません。）

③　提出いただいた応募用紙等については返却いたしませんので、あらかじめ御了承ください。